

1. 科目名 (単位数)	アメリカの文化と言語Ⅱ (外国語活動) (2単位)		3. 科目番号	GECM1312 GECM1322
2. 授業担当教員	黒岩 好子			
4. 授業形態	講義、ディスカッション、発表等		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	アメリカの文化と言語Ⅰのクラスで学んだアメリカの文化と言語に関する知識の幅を広げ、アクティブラーニングを取り入れ、楽しく外国語活動を行い使える力へと高める。まず、活動型の授業形態をとり、活動に伴う会話力の技能を、様々な日常生活の場面に応じて基本的なレベルから、より高いレベルへと向上させる。また、コミュニケーション力や人間関係力を高めるための基本的な表現力を身につける。アメリカの文化を学びながら自国の文化と比較することで、様々な文化を尊重できる素地を養う。			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 様々な日常生活に必要な活動に応じた教材を適宜使用しながら、英語(表現力)の技能を高め、実生活で外国語を使える力を育成する。</li> <li>2) 1)を達成するため、英語の言語としての特徴(発音、文法、語法等)を理解する。</li> <li>3) アメリカの文化事情について多角的に考察を深める。</li> <li>4) アメリカの文化を学ぶことで、自国を含む多様な文化を尊重する態度を育成する。</li> </ol>			
9. アサシメント(宿題)及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 主体的に学習する上で基礎となる事前学習・事後学習を各自十分に行うこと。</li> <li>2. 長期休暇における課題は、別途配布する異文化理解に関する資料を指示に従ってA4用紙にまとめ、長期休暇後最初の授業時に提出すること。</li> <li>3. 期末レポートのテーマは、「授業を通して発見したコミュニケーションの相違と異文化理解について」とする。A4用紙に1200字程度で記載し、第15回目の授業時に提出すること。</li> </ol>			
10. 教科書・参考書・教材	<b>【教科書】</b> Paul Stapleton 『How Culture Affects Communication 英米人の考え方、日本人の考え方』金星堂、2006。 別途プリント教材も使用する。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<b>●成績評価の基準(学習目標)</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 様々な教材を適宜使用しながら、英語の4技能をバランスよく育成することができたか。</li> <li>2. 1.)を達成するため、英語の言語としての特徴(発音、文法、語法等)を理解することができたか。</li> <li>3. アメリカの文化事情について多角的に考察を深めることができたか。</li> <li>4. アメリカの文化を学ぶことで、自国を含む多様な文化を尊重する態度を育成することができたか。</li> </ol> <b>●評定の方法</b> 試験・レポート: 30% 小テスト・発表・スピーチ等: 25% 課題(長期休暇課題・レポート等): 20% 受講態度等: 25%			
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語力やコミュニケーション力を高めるうえで重要なことは、常に勇気を持ってチャレンジし、目標に向かってやり抜く精神です。受身的姿勢ではなく積極的かつ意欲的に授業に参加することを望みます。</li> <li>2. 英語表現力向上を目指し実践に即したプリント教材を併用するが、音読を重ね記憶に定着させる努力が必要です。</li> <li>3. 当授業の単位を修得するためには、各授業の予習・復習を合わせて計4時間の学習時間が必要となります。自身の学習計画にきちんと組み入れ、実行していく努力が必要です。</li> <li>4. 遠隔・対面併用型授業の場合は、小テストは課題レポート提出をもって代用します。小テストまたは課題レポート提出はすべて上記「11. 成績評価基準」の対象となります。</li> <li>5. 「授業中の私語、居眠り、スマホの使用、頻繁な遅刻や教科書を忘れる」を禁じます。それに反した場合は上記「11. 成績評価基準の受講態度等」評価点の減点対象とします。また、当授業の単位修得には本学の規定による4分の3以上(15回中12回以上)の出席が必須です。</li> <li>6. クラス状況および本学の授業計画表に応じて、授業内容や順番を調整・変更する場合があります。</li> </ol>			
13. オフィスアワー	初回授業時に周知します。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション: シラバスの確認、授業概要及び異文化を学ぶ意義について	事前学習	教科書は必ず購入し、「はじめに」「目次」及び「授業で取り上げるUnit」に目を通し内容を確認しておく。	
		事後学習	本授業を受講するにあたっての留意点を振り返り、英語学習の目標設定と自分に適した学習方法・時間配分等を確認しておく。	
第2回	Unit 1: Age, Status, and Family	事前学習	1. Unit 1 (pp. 1~4)のわからない英単語を調べ問題もすべて解答する。2. Unit 1本文の概要及びそれに対する自分の意見・疑問点をノートにまとめておく。	
		事後学習	1. 授業で取り扱った内容を再確認し、要点をまとめ直す。2. Unit 1本文の意味をよく理解しながら音読を繰り返す。	
第3回	Unit 2: Politeness	事前学習	1. Unit 2 (pp. 5~8)のわからない英単語を調べ問題もすべて解答する。2. Unit 2本文の概要及びそれに対する自分の意見・疑問点をノートにまとめておく。	
		事後学習	1. 授業で取り扱った内容を再確認し、要点をまとめ直す。2. Unit 2本文の意味をよく理解しながら音読を繰り返す。	
第4回	Unit 3: Feedback	事前学習	1. Unit 3 (pp. 9~12)のわからない英単語を調べ問題もすべて解答する。2. Unit 3本文の概要及びそれに対する自分の意見・疑問	

			問点をノートにまとめておく。
		事後学習	1. 授業で取り扱った内容を再確認し、要点をまとめ直す。2. Unit 3 本文の意味をよく理解しながら音読を繰り返す。
第5回	Unit 4: Rituals 課題レポート	事前学習	1. Unit 4 (pp. 13~16)のわからない英単語を調べ問題もすべて解答する。2. Unit 4 本文の概要及びそれに対する自分の意見・疑問点をノートにまとめておく。
		事後学習	1. 授業で取り扱った内容を再確認し、要点をまとめ直す。2. Unit 4 本文の意味をよく理解しながら音読を繰り返す。3. 課題レポートの作成に着手し、期限内に完了・提出を確認する。
第6回	Unit 5: Titles	事前学習	1. Unit 5 (pp. 17~20)のわからない英単語を調べ問題もすべて解答する。2. Unit 5 本文の概要及びそれに対する自分の意見・疑問点をノートにまとめておく。
		事後学習	1. 授業で取り扱った内容を再確認し、要点をまとめ直す。2. Unit 5 本文の意味をよく理解しながら音読を繰り返す。
第7回	Unit 6: Modesty	事前学習	1. Unit 6 (pp. 21~24)のわからない英単語を調べ問題もすべて解答する。2. Unit 6 本文の概要及びそれに対する自分の意見・疑問点をノートにまとめておく。
		事後学習	1. 授業で取り扱った内容を再確認し、要点をまとめ直す。2. Unit 6 本文の意味をよく理解しながら音読を繰り返す。3. 小テストの準備をする。
第8回	振り返り(Unit 1~6) ディスカッション 小テスト	事前学習	Unit 1~6 の復習をしておく
		事後学習	振り返りを通して学んだことや気づいたことの内容を再確認し、まとめておく。
第9回	Unit 7: Heart-to-Heart Communication	事前学習	1. Unit 7 (pp. 25~28)のわからない英単語を調べ問題もすべて解答する。2. Unit 8 本文の概要及びそれに対する自分の意見・疑問点をノートにまとめておく。
		事後学習	1. 授業で取り扱った内容を再確認し、要点をまとめ直す。2. Unit 8 本文の意味をよく理解しながら音読を繰り返す。
第10回	Unit 8: Face-to-Face Communication 長期休暇課題について	事前学習	1. Unit 8 (pp. 29~32)のわからない英単語を調べ問題もすべて解答する。2. Unit 12 本文の概要及びそれに対する自分の意見・疑問点をノートにまとめておく。
		事後学習	1. 授業で取り扱った内容を再確認し、要点をまとめ直す。2. Unit 12 本文の意味をよく理解しながら音読を繰り返す。3. 長期休暇課題レポート作成に着手し期限までの完了・提出を確認する。
第11回	長期休暇課題の発表 期末レポート提出について	事前学習	長期休暇課題の発表をするための練習を重ねておく。
		事後学習	1. 自身の発表を振り返り、表現力を更に高めるための改善点を考えてみる。2. 期末レポートの準備に着手する。
第12回	Unit 13: Politically Correct Language 振り返り(Unit 7~8)	事前学習	1. Unit 13 (pp. 49~52)のわからない英単語を調べ問題もすべて解答する。2. Unit 13 本文の概要及びそれに対する自分の意見・疑問点をノートにまとめておく。
		事後学習	1. 授業で取り扱った内容を再確認し、要点をまとめ直す。2. Unit 13 本文の意味をよく理解しながら音読を繰り返す。
第13回	Unit 14: Pronunciation 外国語活動の発表について	事前学習	1. Unit 14 (pp. 53~56)のわからない英単語を調べ問題もすべて解答する。2. Unit 14 本文の概要及びそれに対する自分の意見・疑問点をノートにまとめておく。
		事後学習	1. 授業で取り扱った内容を再確認し、要点をまとめ直す。2. Unit 14 本文の意味をよく理解しながら音読を繰り返す。3. 外国語活動発表の準備をする。
第14回	外国語活動の発表	事前学習	英語の原稿を見ずに発表ができるようになるまで練習を重ねておく。一方、遠隔・対面併用型授業の場合は、取り扱うテーマ及び発表方法が異なる。
		事後学習	自身の発表を振り返り、英語表現力を更に高めるための改善点を考えてみる。
第15回	本授業のまとめ、スピーチ 期末レポート提出	事前学習	1. 期末レポート(9.-3参照)を完了する。2. 初回授業時に設定した自分の学習目標に対し達成度を査定してみる。
		事後学習	本授業で使用した教科書、プリント教材及び自身のノートなどに再度目を通し、自己分析をしながら英語力の更なる向上を目指し自律的学習の習慣化計画を立てる。